「和」川柳社　会報　No.７１１　２０２２年新年特別号

明けまして
おめでとうございます。

選挙のときだけ
政治に関心を
持っても
ダメじゃん

主張するネコたちのこと　ェアもコピーも自由です

オミクロンに負けずに
諷刺をひねりましょう

聞く力はあるけど
理解する力や
考る力や
実行する力は
無い
いちばん大切な
共感する力は
全然無い

主張するネコたちのこと　ェアもコピーも自由です

昨年２０２１年。激動の一年でした。

安倍政権を継承した菅政権誕生。コロナ５波の中オリパラ強行。支持率急落。選挙対策で菅退陣。岸田政権誕生。衆議院解散。野党共闘が変則成立。総選挙。選挙プロの予想をも裏切る自民党単独過半数獲得。野党共闘の不振。維新とれいわの躍進。

さて今年の夏、参議院選挙が行われる。

皆んなで選んだ2021年（昨年）秀句集

2021/ 11月 No.710

改憲派抜き足差し足忍び足　尉
選挙後は本音続々民意無視　小山宏助
増え続く空き家借金核のゴミ　寺内撤乗

2021/ 10月 No.709

首相の座投げたとたんに忘れられ　白 眞 弓
こんなところにまだあったのかアベマスク　寺内 徹乗
総裁選どっちむいても風見鶏　遠田亀公子

2021/ 9月 No.708

緊急事態今日も明日もで不感症　遠田亀公子
聞く力 ボスらの声を聞きました　寺内 徹乗
ガッと掘られザァーと海に沈む骨　白 眞 弓

2021/ 8月 No.707

息をして病床空くのをじっと待つ　寺内 徹乗
死に水も取れず無念のコロナ葬　遠田亀公子

2021/ 7月 No.706

ガラス越し手の平合わす老い二人　小林ひろみ
黒い雨開かずの扉突き破る　遠田亀公子
百本を切り一本の植樹祭　周 立東爺

2021/ 6月 No.705

赤木ファイル官吏の矜持教示する　白 眞 弓
五輪さえやれたら後は知りません　岩佐タン吉
政治家に頼れぬ国に住んでいる　小山宏助

2021/ 5月 No.704

「さざ波」が大穴あける五輪かな　日下 宏
難民が蹴り落とされる飢餓の穴　遠田亀公子
医師おらずベッドもなくて在宅死　前田大峰

2021/ 4月 No.703

処理水と言わせてならぬ汚染水　遠田亀公子
被爆国耳を疑う署名拒否　金石北の山

2021/ 3月 No.702

国境のテントの列に子の笑顔　周 立東爺
お願いと謝罪はするが無責任　小山宏助

2021/ 2月 No.701

文春砲に撃ち落とされる金バッチ　遠田亀公子
血の滲みた山土で埋める辺野古沖　遠田亀公子

2021/ 1月 No.700

出世して総理にメモの渡し役　周 立東爺

■掲載者全句集

もくじ

足利尊柳……3
岩佐ダン吉……5
岩原一角……7
金石北の山……10
小林ひろみ……11
日下宏……12
小山広助……14
坂本ふさこ……16
周立東爺……18
尉……20
白眞弓……22
白山未知子……24
寺内撤乗……26
遠田亀公子……28
中野林……30
羽原川貞行……31
浜本大蔵……31
馬頭琴……32
前田大峰……34
若林高坊……34
遠田亀公子……37
岩原一角／周立東爺……38
ほのぼの川柳　神田鯛……39
井上剣花坊生誕一五〇年記念川柳大会……40
編集後記……40
川柳連作

◆足利　尊柳

【和】
太平の世求め続ける和の心
７００号鶴彬への金字塔
コロナ禍へ「暁」の句碑蘇る

【自由句】
ＧＯＴＯへコロナを煽る菅首相
１１８回嘘吐き通す安倍総理
早すぎるキャンペーン対策は牛歩
ＰＣＲ検査議員もすぐには受けられず
百年に一度ハッピー言えぬ年

【落】
昭和史へ目に焼き付いた落下傘
落陽へ明日への夢を掻き立てる
ステイホーム奥様族は落胆す

【自由句】
五輪のドン内外の堀埋められる
不条理な末世と思うコロナ危機
コロナ禍へ生き抜く野心だけ目覚め
株高へ日銀必死に買いまくる
南洋の島沈み始める温暖化

【国】
鶴彬国粋主義に立ち向かう
朝鮮哀史三十八度線の壁厚い
コロナ危機国の姿勢を炙り出す

【自由句】
世界危機一億人の感染者

経済主義ペストの教訓生かされず
自然破壊しっぺ返しをするコロナ
コロナ危機政府の無策曝け出す
コロナ禍の友の訃報に泣く無念
【耳】
耳栓をしても聞こえる怨み節
座に就くと耳を貸さない独裁者
世界中耳目集めるこの乱世
【自由句】
再選へバイデン詣で急ぐ首相
ＧＯＴＯの付けへ未だに悩まされ
早すぎる解除を狙う変異株
ワクチンの不足予定を立てられず
松山の快挙列島熱くする
【穴】
昭和史へアナニハマッタ15年
空襲へ命を拾う防空壕
金権へ墓穴を掘った自民党
【自由句】
後手後手の宣言発する菅首相
宣言の度に支持率低下する
早すぎた解除の大阪医療危機
改憲へ色気を示す菅首相
台湾へ肩入れをする菅首相
【教】
コロナにはどの宗教も歯が立たず
処刑後もオームの謎はまだ解けず
天皇を現人神へ日本教
【自由句】
後継者を取沙汰される菅首相
黒幕へと変異株になる前首相
議員辞職金に溺れる永田町
権力の意向で歴史を書き替える
ワクチンでガード固めるコロナ戦
【木】
コロナ危機木に竹を接ぐ自民党
森林浴日光浴で断つコロナ
乱伐へアマゾンからも来る抗議
【自由句】
散骨へ昭和史の謎明かされる
戦犯の死刑七名昭和の碑
神国へ命捧げる学徒達
田辺聖子が軍国少女と知る日記
軍国少女本土決戦唱えてる
【生】
一生を反戦平和叫びたい
コロナ危機生命の危機思い知る
生涯の趣味に川柳選ぶ幸
【自由句】
コロナ下の五輪へ揺らぐ平和の灯
史上初東京五輪無観客
強行の五輪を襲う変異株
ワクチンの不足第五波止まらない
２億人コロナも飢餓も増え続け

【感】
突然の首相退陣に違和感
永田町へ根強く残る不信感
アナログ派へ隔世の感のデジタル化
【自由句】
安倍に次ぎ菅も政権放棄する
経済主義コロナ失政繰り返す
国民も世論もそっぽを向く首相
コロナ禍を人災にする無策党
コロナ失政連帯責任負う与党
【風】
新首相令和時代の風見鶏
全世界コロナ旋風吹き荒れる
米中が世界に起こすつむじ風
【自由句】
総裁選失政劇の隠れ蓑
結局は派閥人事に明け暮れる
傀儡へ派閥ボスへの恩返し
聞く特攻黒幕だけに活かされる
新総理支持率株価共に下げ
【続】
政権の続投許す弱体野党
死者五百万コロナ禍続く全世界
暁を抱き続けて早二年
【自由句】
コロナ下選右傾化加速する日本
改憲勢力２／３以上占める

野党共闘悪意の批判に晒される
感染減維新に手柄奪われる

◆岩佐ダン吉――――

【和】
勝者から和の大切さ宣われ
和を唱えいつも私は潰される
どちらかが大泣きをして和を結ぶ
【自由句】
商店街怨嗟の声に嘘（む）せ返る
発出より初雪効き目あるみたい
都合よく知事ドクターに転嫁する
いつの間にマスクが顔になっている
あの学者嫌いなんだと言えません
【落】
限界の集落母は頑として
コロナ禍の公園落葉だけ乱舞
オリンピック中止と落書きがでかい
【自由句】
棒読みのお詫びその上とちってる
失言と言うより本音なんですね
辞任の弁又も自論を滔滔（とうとう）と
午前二時コンビニの客ひとりだけ
神の国まだあの人がおりました
【国】
良い人に見えるね奴の国訛り
沖縄も日本国じゃないですか

日本国の総理があまりにもせこい
【自由句】
官邸の空気澱んでいませんか
運もあるが物にしたのは汗でした
マスクまで耳は働き者ですね
忘れっぽい官僚増えていませんか
接待の話はどこからもこない
【耳】
底浅い耳学問をしゃあしゃあと
時どきは持て余してる地獄耳
メガネからマスクまでもが世話になる
【自由句】
拉致のこと聞きたくないと言う総理
事態宣言五輪済んだら考える
列島をすっぽりマスクしてやろう
公園は爛漫捨て猫が二匹
誌上句会督促状のように来る
【穴】
穴があればと言うてはいるが笑ってる
結局は私の掘った穴やった
穴だとは思う作戦かもしれぬ
【自由句】
第一声生きているかと言うてくる
根絶を競う五輪ならやろう
汚染水海も言いたいことがある
商店街チェーン店だけひっそりと
接種だけ完了受診控えたい

【穴】
穴があればと言うてはいるが笑ってる
結局は私の掘った穴やった
穴だとは思う作戦かもしれぬ
【自由句】
第一声生きているかと言うてくる
根絶を競う五輪ならやろう
汚染水海も言いたいことがある
商店街チェーン店だけひっそりと
接種だけ完了受診控えたい
【教】
教えたがりやっぱり口を出してくる
聖職と名ばかり疲れはてている
坊ちゃんのような先生いませんか
【自由句】
五輪さえやれたら後は知りません
ワクチンを打ったと今日は杖がない
窓口の二割これこそ自助ですか
予防接種ドクターに言うお大事に
渋面と腹立ち今日もあの総理
【木】
廃校にまだ並んでる木の机
ヒト科のことメタセコイアはあれこれと
木で鼻をさみしい人を知っている
【自由句】
梅雨が明けオリンピックの闇にいる
猜疑心強く気短か居丈高

雨の空睨む一句も詠めません
大丈夫か散歩の犬が見上げてる
生きてるかそんな便りがもう二通

【生】
余生ではおまへん今が真っ盛り
生気なくひとり明るさ説いてはる
生きてます救急車にも乗れました

【自由句】
自宅療養まず最大の自助だろう
救急車病院巡りまだしてる
横浜でカジノに勝負つけている
菅総理読み飛ばしにも見た真意
死者の数メダルどころじゃありません

【感】
延延の茶番ドラマに感動は
一万五千核にもしやはないですか
寡黙だが存在感が隅にいる

【自由句】
コロナ専念これから腕の見せ所
マスク外し腹いっぱいに秋の風
凶状持も混じって組閣粛粛と
議事堂に黴など生えていませんか
腰砕けの総理一票止め刺す

【風】
風評を真しやかに説いてくれ
風の向きばかり気にしていませんか
逆風の海で私の浮き沈み

【自由句】
新総理の地金をじっと見るドーム
結局は逃げ得ですか幹事長
閉店をしますが風に千切れそう
前総理コロナ専念してますか
このドラマ決める一票待っている

【続】
白熊の彷徨に見るこの地球
廃線となりふる里はもう届かない
地球儀に続くヒト科の影がない

【自由句】
ノンアルの日本酒などはないですか
せっかちな男と鍋を共にする
拉致のこと一言だけは触れてはる
岸田メモ黙る水呑みはぐらかせ
介護入門一番前の席にいる

◆岩原一角

【和】
７００号和して同ぜず貫いて
和文です読めない総理怒る俺

【自由句】
遠くても恩師めざしてわれは行く
７００が次の世代の折り返し

【落】
組織委の会長がクビレベル落ち
自民党落ち目をカバーワクチンで

ワクチン後コロナ増税落ちがある
【自由句】
政権よ自分のシール募ったら
ワクチンもアメリカ頼みのニッポン
地震ではタンク溢れる造り方
年功は時代遅れと悟ったか
自民党弁（わきま）え女傍聴で
【国】
街で持つシールボードで友は燃え
いい句より国を憂いて句を吐いて
国のため雪隠詰めを考える
【自由句】
電話機に接待料が含まれる
影うすい五輪コロナが接待で
自粛などどこ吹く風の繁華街
口裏を合わす大臣テレワーク
観劇もレセプショニストに手を引かれ
【耳】
福耳の総理のくせに聴かぬふり
放射能恐れる声がその耳に
ワクチンがじきに打てるか空耳な
【自由句】
女性部でジェンダー語る男です
女とは嫁にいくまで上本音
嫁にいってなおがんばった女たち
大阪はひどいもんだが姉案じ
コロナ禍の街にくじけずアンケート

【穴】
コネ使い署名偽造穴だらけ
ワクチンも穴だらけで無責任
総理殿君の眼（まなこ）は穴ですね
【自由句】
ノウハウにコネもある某業界
原発もさざ波という怖くない
テレワーク三割とかができますか
ニッポンでオリンピックの変異株
ワクチンの噂と匂いはするのだが
【教】
江田島は兵学校と教えられ
若い人教えてくれる技多い
恫喝は犯罪ですと教えたい
【自由句】
住民はスパイが怖い土地の法
信任をしたこと俺はないのだが
子ども庁役人がまた焼け太り
一万でコロナまん延誰のせい
ワクチンもオリンピックも欲深い
【木】
木登りができる公園近くだぞ
見るだけの木では子どもは育たんね
のこぎりも使わないから今の子は
【自由句】
戦中を思い出させるバーいじめ
大臣のどんちゃん騒ぎを忘れてる

聖域の五輪と比べバーいじめ
黒い雨フクシマだって降ったのだ
英空母それより怖いコロナ株

【生】
メディア消え生身の夏五輪過ぎ
健全な精神生身に帰ったか
生肉をドラックストアで買う時代

【自由句】
コロナ菌水に流してバッハ去り
遅刻した総理を責めず事務を責め
ワクチンは手に入らない五輪過ぎ
田舎にも五輪コロナを広げたが
支持率が下がってもまだ居座って

【生】
ぶざまにもまだ生き続ける総理では
コロナ禍で死産のままで生まれた子
生薬を鵜目鷹の目探す国

【自由句】
街頭のシール総理は間違いだ
アメリカのおこぼれの末自衛隊
横浜の民意が示す日本今
パラが来た思い強まる感染禍
ならいっそ自民党を解党し

【感】
感情は野党共闘高まるが
感覚はコップの嵐総裁選
自民には自浄不能の感がする

【自由句】
街頭のシール総理が辞めるから
米軍機自衛隊基地我が物に
横浜の民意が示す日本次
パラ終わり解除とかの感染禍
ならいっそ自民党を解党し

【風】
野分立ちポスター貼りの苦心聴き
風は見ず電話片手に風吹かせ
名簿見て電話をいれてなびく風

【自由句】
連合は自民が勝つとうれしいの？
戦争の臭いしゃぶるかダラ官は
共闘を進める友に拍手する
日本の名前汚した大学が
産んだ子を殺した母をただ責める

【続】
分配が続かないです成長は
また続くアベノミクスの焼き直し
続くには俺はまだまだ鶴彬

【自由句】
危機管理口でいう間に第六波
坂昇るコミュニティバスはいつできる
眞子さんもティアラ持ってニューヨーク
鶴彬研究してた先進者
帰国さえまごまごしてるわが政府

◆金石 北の山

【和】
小国がリードし平和の道拓く
今月も俺を悩ます和川柳

【自由句】
今年こそ築こう希望の新政権
時来たりコロナもろとも悪政退治

【落】
菅もかい自民公明地に落ちる
コロナ禍も落ち着いたもの株価かな

【自由句】
デジタル庁早速意味が不明です
マイナンバー便利さ売りに忍びこむ
コロナ禍も株価ばかりがなぜ上がる

【国】
国民の苦労をよそにはぐらかし
まだ俺を覚えているか故郷は
旅先でお国訛りの底力

【自由句】
虚偽答弁空しく時が過ぎて行く
役人の李下に冠どこ行った
また淋し我を残して友が逝く
話し合い飲み会なしでなぜできぬ

【穴】
コロナ禍に後手後手政治で墓穴掘る
我が人生大穴狙いの夢破れ

【自由句】
湧いて出た1.5億のなすり合い
コロナ禍でどうにかズームについていき
総理答弁こわれたテープレコーダー

【教】
疫病の怖さコロナに教えられ

【自由句】
土地利法基地を守って民縛る
行政が憲法破って罪問わず
こりゃ持たぬ一発勝負の賭けに出る

【木】
コロナ君ウッドショックも連れてくる
どこまでも木で鼻くくる菅答弁

【自由句】
命より政権大事と突っ走る
ありし日の愛猫写真に癒されて
日本史の現代史編抜き取られ
コロナ禍に無鉄砲だよ船頭さん

【生】
この道だ信じる道を生き抜かん

【自由句】
読み飛ばし期限切れですこの方は
終戦日敗戦の日となぜ言わぬ
淡々とただひたすらに淡々と

【感】
薬漬けわが身の老いを実感す
連れ合いに感謝感謝の日々送る

【自由句】

遅刻ぐせ五十肩まで七十に
気が付けば飲む塗る点すの薬漬
仲間内いつまでやるの総裁選
【風】
明日は吹け俺の人生風頼み
【自由句】
仕事ナシ突然解散何を問う
【続】
総選挙どこまで続くぬかるみぞ
9条を掲げて戦後を続けたい
【自由句】
苦も楽も仲間と共に生き抜かん
総選挙ちょっと維新に寄ってこか
老いの身に小春日和のプレゼント

◆小林ひろみ

【自由句】
一歳児寝起きあばれ時笑みとコラボ
コロナ禍で飲食店は利益パー
言葉出ずあれこれそれで通じ合う
【国】
多種の中 国産マスク探す我
【自由句】
会えないよ県外姉と長電話
病の中ウナギ欲するも見てるだけ
無理せずにと意欲もなくしお呆け入り
マスクからのぞく目の周囲シワだらけ
【自由句】
面会はオンライン嫌と涙す
二階氏の発言は本音　五輪中止
大騒ぎ後可愛く寝てる認知症
会見わずかに貫録菅総理
【穴】
山道で穴掘るうり坊親はどこ
【自由句】
咳ひとつにコロナ危ぶむ恐怖心
大阪姉行ったらあかん?来たらダメ!
ワクチンよあなたの成果切願す
上を見上げ人生整理一〇二歳
【教】
現役時教えてた事今習う
教えて～ 川柳のコツ初心者に
血筋かな劣る教養天然ボケ
【自由句】
自粛続き友と遠のく孤独感
会えぬとも差し入れ通い親心
辞めさせぬ退職願い受理後にて
看取り介護我が身の先に不安抱く
【木】
木が育ち空き家の実家日陰なる
若い頃金木犀で花粉症
【自由句】
脳劣り老眼進む定年後
患者見ずパソコン見てるお医者さん

ガラス越し手の平合わす老い二人

【生】
どうしたかジャンボで生まれ今はガリ
「一生しない」スケボーで怪我やんちゃ孫
輝ける過去の人生認知症

【自由句】
マスク顔外したらあらっ深いシワ
自粛慣れお墓参りも億劫なる
まだ「テビレ」もう「テレビ」でしょ孫四つ
五輪メダル喜び余所にデルタ株
終息より願わくばまず収束

【感】
無気力感いよいよ来たか自分にも
老い実感 長生きしてね孫レター
左右見て横断歩道ネコに感動

【自由句】
元亡夫の袖にすがるも夢覚める
仲良し姉明日は施設へ遠きなり
ビールついで独りハッピーバースディ
窓を撫でいつ出れるかと入居者
ボケ防止今月の〆はそろばんで
2円安い給油求めて遠距離へ

【続】
飲み続けた母の活力養命酒
叙勲祝い続々と届く胡蝶蘭

【自由句】
久々で笑って忘れるコロナ危機
通夜のようカニ会食は黙々と
かみなり様マナーモードで休んでね
ベッド上で最期の涙耳穴に
美肌県我も県民仲間だわ

◆臼下 宏

【和】
平和こそ市民野党で前進へ
「和川柳」時代を拓けより広く
隣国と和解すべしや慰安婦徴用工

【自由句】
アベ・スガも同じ轍踏む「さくら」かな
コロナ増し病院マンパワー限界ぞ
オキナワのジュゴン・サンゴも死の海へ
桜の会ガースー「ガス抜き」中止なの
雪かきで句捻るよりも腰捻り

【落】
菅息子総務省接待落ちし実体
照の国序二段落ちもはい上がり
落雪でケガ人多数蝦夷の地ぞ

【自由句】
火中栗師・父の関係 出来レース
民に自助 息子に公助 ガース氏よ
五輪よりコロナワクチン 生命守れ
店・個人の保証皆無 自助厳し

【国】
被爆国橋渡し役「核」仮面

核のゴミ２０万年先責任は国
総務省文科省接待亡国ぞ
【自由句】
新基地はジュゴンサンゴも死の海へ
官邸の経済第一自助の圧
島根県知事聖火リレー中止の弁
２割アップ民のいじめなり健保料
聖火よりコロナ対策ゴテゴテぞ
【耳】
文春砲壁に耳ありカメラ付き
菅総理馬耳東風のコロナ後手
コロナ禍でこの二週間耳にタコ
【自由句】
知る権利五輪丸味紙回収
マイナンバーポイント付加し普及アップ
汚染水うすめても量は海へ捨て
新冷戦「わが軍」出動現実へ
松山氏ゴルフメジャーで世界一
【穴】
「さざ波」が大穴あける五輪かな
復興のコロナ格差の絆という
官邸は国政三連敗穴に入りたい
【自由句】
核のゴミ札束ひっさげ過疎ねらう
官邸の経済・五輪自助の圧
訪米で宿題かかげて民につけ
道 500 人コロナ後手で五輪無理

緊急事医療逼迫五輪止め
【教】
医師教え官邸与党軽視なり
【自由句】
わが国は五輪先行民守れぬ
ＩＯＣ政府・都すらもコントロール
脱炭素裏で原発粛々と
バッハ氏はボッタクリ名手「王」気取り
アベ夫妻「スガ」親子丼変異株
【木】
現閣僚右向け右の木偶の棒（デクノボウ）
スガ総理コロナでも木で鼻をくくる
【自由句】
都議選の市民野党で弾みつけ
自民一強おごりが全国充満だ
五輪まで小中生を出陣か
バッハ言う自国民をも守れるか
「バッハ」よりシューベルト氏の曲好む
【生】
コロナ禍で生きることへの闘いぞ
透析で針の痛みに生を知る
生きるとはあえぎながらも連帯へ
【自由句】
スガ与党コロナ対策ゴテゴテだ
選挙では市民野党で政権を
アフガンも米のカイライ崩壊す
わが国はオリパラ強行民リスク

官邸は悪代官のたまり場か
【感】
感動だ聡太三冠十九歳
マスコミも鈍感競う過剰熱
誰になっても感動なしの永田町
【自由句】
コップ中 総裁戦アベスガ亜流
八代氏の反共デマゆるせない
暴力が無かった如きのスルー劇
（ハムからのトレード劇）
自宅治療六万人棄民かな
総選挙で市民野党の共闘を！
【風】
コロナ禍で風邪の軽視もままならぬ
北風に選挙共闘前進へ
【自由句】
寿都町中間から永久に金につられ
ハローウィン広告業界ドッキングね
友個展紅葉（もみじ）いざなう夕張よ
もの忘れ〆切日すらも整理不可
アベスガと岸田氏山の手線内と外
【続】
蝦夷の地も線路続けよ廃止線
アベ・スガに続く軍事費七千億
コロナ禍で道内再拡大続かないで
【自由句】
大谷さん投打共に楽しみＭＶＰ

選挙深層小選挙区「共闘」一定進む
マイナンバー個人リスクの拡大よ
辺野古基地作らせない知事を支持
「独」核禁条約参加へ日本見習え

◆小山 広助

【和】
平和の字誰もが好きな重い文字
自国主義調和の世界バイデンに
凛として和して同ぜず鶴彬
【自由句】
利潤主義コロナが迫る矛盾負い
桜見るウソの答弁フタを開け
廃止せよ安保法制大掃除
学術の異論排除に病む言論
三密で自分を守れ後は自己
【落】
落とせない命の次はスマホかな
村落も猪熊も街目指す
廃プラで命を落とす哺乳類
【自由句】
菅政権我田引水お手本に
人間のエゴ氷河を溶かしだす
万能かワクチン頼み安全は
官僚の接待漬けは便宜だけ
コロナ禍で五輪開催是非を問う
【国】

脱炭素裏で原発薦め
国を挙げ五輪感染暴走し
警鐘だ国民管理デジタル庁
【自由句】
夢少し捨ててコロナに身構える
3・11忘れない内再稼働
お願いと謝罪はするが無責任
大物に見えたが小物菅政権
ワクチンの投与を前に罰則も
【耳】
耳よりなニュースもない政治ボケ
民の声耳栓をして聴いたふり
核国の廃炉時代に耳栓し
【自由句】
次々とコロナの波が異変株
なぜ拡大三度目宣言原因は
言えないか五輪中止の下心
聞こえよい日米同盟墓穴掘る
政策が場当たり的な危機対応
【教】
授業には九条教科抜けている
反戦歌教える集い過去となる
票田へ名前と顔を先ず教え
【自由句】
政治家に頼れぬ国に住んでいる
原稿を棒読みにする危機管理
改憲を焦る政治に不安抱く

リモートについてゆけずに出社する
雑草に等しく日照自然界
【木】
太らない金のなる木を育てる
正直に生きた先祖の森がある
水害で知る森の風あたたかい
【自由句】
国民が嫌でもするぞと五輪パラ
オリパラで政権維持の万華鏡
開催へ意地を張ってもする五輪
オリパラを強行コロナ怒り出す
無観客感染リスク止まらない
【生】
生か死か余命告知のないコロナ
ワクチンを打つも打たぬも命がけ
生きる人みんな主役とパラ五輪
【自由句】
どう聞くか声なき声に政治ある
復興へ五輪の虹が嘘でした
経済か命か天秤が嗤う
屑かごに国民の声捨ててある
根回しが上手か下手かで総理決め
【感】
百歳に感想聞けば自然体
収穫を前に感謝の水を撒く
政治家に感想聞けば自己保身
【自由句】

解散の機会伺うデルタ株
温暖化地球が歪みだしている
安倍菅の傀儡政権負の遺産
総裁選派閥で決めるまつり事
軸足が民に向けない自民属

【風】
そのままで生きてよいのか風の声
テロ多発アフガンに吹け千の風
年金で安息がない向い風

【自由句】
選挙には甘い言葉で票集め
権力者能力もなく国作り
老若の会議突然風変わる
川柳でひと時の命を燃やす
大谷は一度の人生二刀流

【続】
政権の続編ですか国滅ぶ
選挙後は本音続々民意無視
想定外ばかりが続く地震国

【自由句】
中国の覇権主義世界が軋む
敗戦を忘れた議員認知症
防衛の大義をかざし重武装
温暖化自然が叱り荒れ狂う
海はゴミ箱でない原発辺野古

◆坂本ふさこ

【落】
引退か裏で糸引く懲りぬドン
辞して尚ドンとなってる黒い影

【自由句】
人のあらばかり探すなマスコミよ
本当の苦しみある人もの言えぬ
とりあえず女性を数だけ用意する
「老害を掃いて捨てろ」は国会で言え
「自己努力」高齢社会で通じるか

【国】
コロナ禍は国より個大切を育てけり
コロナ禍は大義名分使い分ける国育て
言いたいことしたいことし放題どこまで国は許すのか

【自由句】
ガラス張りシャワー室皆さん入りに来てと公募かな
シャワー室作るなら苦しむ人に手をのばせ
取り違えていませんか個人主義と民主主義
民主主義国民もう一度振り返ろう
放射線人住まわせず牛のみ生かす
放射線浴びた牛のみ歩く映像悲し腹立たし

【耳】
何もかも後手後手の国未来なし
みなさんの声を聞く耳選挙用
聞く耳は風評ばかりにむけてます

【穴】

正直に生きてる人ほど穴に落ち
海に捨て穴に埋めても消えぬ汚染水
耳の穴かっぽじって聞け民の声

【自由句】
予防液私が体験と正義ぶる
大義名分民のためでも変わらぬ世
大義名分は民のためだがいっこうに変わらぬ世
グレーゾーンは言葉のあやで民をまく
いつの間に医者のつもりの町長さん
堂々とまず言い逃れの権力者

【教】
何教え何を学ぶか日本の子等
絆てふ文字のみ踊る国の中
「親に孝」どこで子どもに教えよか
善悪の基準の教え師も知らず

【自由句】
今知った戦犯の骨靖国になく海の中と
さい銭を何度も盗みに来る人世も末だ
悪いことした後さっさと辞職でケロリ
目の前にぶら下がっているオリパラを未だにフラフラ民もフラフラ
スピードと便利が優先今の社会

【木】
議員共木々の根っこの広がりを見ろ
真っすぐに伸びる木の根に民の声
気(木)の多さ自由自在にせこく稼ぐ経産省の職員

【自由句】
支援給付せこくへそくる経産省人
この世では老いる(オイル)は嫌だ活(カツ)が好き
採用の基準はどこなの経産省
支援と言う文字も空虚な世の中よ
生きるための支援申請読まずに廻してるだけ

【生】
芸人もどっきり市長の生囓りメダル
市長さんメダルの生囓りどんな味
フードロス言ってる尻から捨てる弁当

【自由句】
観客のいない会場の金メダル空し
オリンピック捨てる弁当フードロス一番
弁当を作る人の手考えてみよ
べんちゃらのやり方一つ知らぬ人

【感】
生んだならしかり生かせよ児の命
命は一つ何故守られぬのか母親よ
子を想う母の感性消えたのか

【自由句】
政治家はまず身につける無表情
なに問えど同じ羅列の質問戦
総裁戦首だけ替えても思考変わらず
この国を本気で守れるのか候補者は
引っ張りあい押し合いだけの総裁戦

【風】
風車ごとく人いらず文句も言わず働くＡＩ
ＡＩに意地悪ばあさん反抗するぞ

【自由句】
悪徳のタックル男今度は詐欺師に変身か
人々のよりどころなる宗教がすぐ爆発で人殺す
おせっかい爺婆いてこそ絆が生まる
核となる人物いない国家は悲し
次世代を育てる気なし詐欺の巣日大
【続】
延々と続く歳費の無駄遣い
永田町あたりばかりで動く歳費かな
伝統も秘伝も続くは外国人か
亀の甲ほど歳かかえ中高年の事件続く
【自由句】
ここだけは別天地だとうそぶく輩
我を張ってマスク談義が議会とめ
マスク一枚鼻を出すのがそんなに偉いのか
主張するのは鼻マスクではない本音だせ
もっと聞けヨタヨタノロノロの人々の声
《狂歌》
人いらず文句も言わず働くＡＩ
風車のごとくにそれでいいのか日本の社会
言いたいことしたいことし放題どこまで国は許すのか
ガラス張りシャワー室皆さん入りに来てと公募かな
放射線浴びた牛のみ歩く映像悲しすぎたり腹立たし
目の前にぶら下がっているオリパラを未だにフラフラ
民もフラフラ
為政者の八方美人のその姿勢この世の民の声聞こえるか
◎思いつき書きなぐり
寄るな喋るな集まるな　これで絆が深まるか
和の食はいいねと言いつつ　米は喰まぬ若者
菅内閣議員同志の和はなくてペコペコ謝ることばかり
刑事論めぐる議論の空回り　銀座外食罰はなし
国会の議員経費の削減を　考え苦学を救え
コロナ禍と花粉症とで平和なし
補正予算もらって公園掲示板だけとりかえる
感染者名一九一名棚ざらし　平和の中でプライバシーなく
コロナ禍でオリンパラリン出来るのか　委員長はモゴモゴ言わずはっきりと
日本人は原子力の恐怖忘れたか　福島県第一原発格納容器の壊れ真剣に憂う

◆周 立東爺
【和】
コロナの図和みを許さぬ街の中
ドアを開け和む空気にある怖さ
「政治は言葉」総理答弁すぐに消え
【自由句】
出世して総理にメモの渡し役
二枚では足りず百十八枚の舌を持ち
のんびりと牛歩が似合う菅会見
アベの方が良かったねえと云い出しそう
安心せぇ誤読はしません国語力
【落】
命の言葉語れずセンセー落ちていく

笑い取るつもりで滑った口で落ち
ひと言が多くて最後に転けました
【自由句】
わきまえぬ女性に嫉妬し口滑る
センセーになった動機が不純です
国境に命の壁がガンと立つ
月満ちて国境照らす和の祈り
調査洩れたくさんあって答え出ず
【国】
国境に張り付く命つなぐ群れ
難民を断固拒否する純血国
国境のテントの列に児の笑顔
【自由句】
初めから裏ばかりです「おもてなし」
訳あって記憶力ある沈黙者
沈黙は金に輝く香港島
政治家の言葉は軽くなりました
次々と真贋決めかねひと休み
【耳】
都合よいことだけ学ぶ耳学問
聞きたくない事は聞こえぬ便利耳
目の粗い笊耳民の声聞けず
【自由句】
責任は他人に取らす出世道
掛け声の先に地雷が待つＧＯＴＯ
産声は輪廻巡りの迸り（ほとばしり）
聞く人がいないホールの音楽隊

国難が棲みつく官邸腐敗臭
【穴】
二階には穴があるらし金が降る
あんらまあ二階の金庫は穴だらけ
買収費指示したあの人穴籠り
【自由句】
聞かれても知らぬ存ぜぬ金庫番
義理通し知らない事にして守る
1・5億円黙して語らぬ義理がたさ
敵の敵いずれ敵となる味方
五輪後は野となれバッハの行進曲
【教】
教室で習っていないね現代史
教科書は伏せて脱線教師力
教科書の形に育った卒業生
【自由句】
改憲へコロナはチャンス策を練る
逃げ切れるつもりだった証言台
責任を知るが言えない裏事情
最初から穴が空いてる泡ドーム
爆発をしないと分からぬ危機管理
【木】
百本を切り一本の植樹祭
新自由主義がなで切りする雇用
寺社林が消えコンクリートにタイヤ痕
【自由句】
セミの声聞かぬ日照りと地中の死

ふと見れば終末時計の残１００秒
届かぬかグレタの声よ地に天に
大戦を映す五輪のファンファーレ
ファンファーレ五輪の後に死屍累々

【生】
コロナから自助で生きよと叩かれる
沈没館逃げ足速い大使たち
飢え知らぬ今も変わらぬ生きること

【自由句】
バスを待つ一列下向き手にスマホ
この秋は光が見える選挙戦
傲慢が並ぶ自民のお歴々
官邸は光が嗤う別世界
真っ先に待避しました大使たち

【感】
コロナ禍に光を感じる選挙戦
医療者へ感謝 静かに手を合わす
民度です右に倣えのご安心

【自由句】
欧州に社会民主の風が吹く
新自由主義に壊れた日本地図
官邸に嘘が住みつきまず除霊
幕が開く亜流仮面でご挨拶
総裁選じわり近づく再稼動

【風】
風に聞く硝煙サイレン叫び声
風林火山エコエネルギー日々の無駄
風雪に茅葺きの家凛と立つ

【自由句】
国境の銃眼に見る子の笑顔
怨念の火種抱えて二千年
お釈迦様いじわる遊び蜘蛛の糸
硝煙に三本指の差す未来
卒論もネットコピペで済む時代

【続】
後継のお面の中は安倍の顔
後継も反省知らずで走り出す
嘘続々結果派閥のドンとなり

【自由句】
正義の味方 昔ロシアも中国も
権力の味忘れられずぶら下がる
ミャンマーの嵐に抗する指三本
街静か次の波かと立ち止まる
核未練ゴミ穴作れず御一服

◆尉（じょう）

【穴】
亡国の徒ら同穴の狢ども
老不様穴があったら入りたい
十七年蝉の潜める穴深し

【自由句】
その口で嘘八百のまつりごと
お悔やみ欄我より若い世代の死
コロナの禍夫婦別居もその一つ

風化してもろき老後の赤い糸
政権痛打異種株ことにインド株
【教】
団塊世代知るや黒塗り教科書
アクセルとブレーキぐらい教えてよ
政治屋に道徳を先ず教うべし
【自由句】
別居してノラともなれず白髪妻
人に付く犬の選びし生の道
別居して妻生き生きとつばくらめ
別居してはや二タ月の閑古鳥
負の遺産団塊世代狙い撃ち
【木】
ふるさとの山ふところの樹木葬
オアシスのような片陰並木道
木石の首相日本語を知らず
【自由句】
国民にそっぽ向かれている五輪
ハガチー帰れバッハ帰れの声重なる
マッカーサー凌ぐＩＯＣ会長
資本論第一巻の古栞
老妻はノラともなれずガンに臥す
【生】
生き抜いてそうやすやすと死ねません
生き延びて昭和の世代強かよ
消費期限過ぎてもさらに生きてゆく
【自由句】

男泣きとはこらえ泣きしのび泣き
手をつなぎ合う老夫婦前を行く
招かざるバッハ再び来日す
かつて学徒いま学童を動員す
人質に児童学童パラ五輪
【感】
コロナ禍の世に感動を置いてきた
五感なお息災である草紅葉
感動も理に落ちている老い無残
【自由句】
老年の来し方昭和遠くなり
おはようとおやすみを繰り返す日々
六十余年虚像であった夫の座
言うなれば自衛本能曼珠沙華
老妻の夢百歳を越えること
【風】
生き方は古風身なりは今風に
民の声馬耳東風と聞き流す
流行り風邪競うコロナの第六波
【自由句】
長寿の世所詮薬と検査漬け
絆なるもとどのつまりは腐れ縁
巷ゆくマスク美人の多かりき
老後とは日々刻々を生きること
齢加え流行りの風邪に素直なる
【続】
続々と決まる当落午後八時

継続は力川柳また然り
あっけなく消える夫婦の続き柄
【自由句】
改憲派抜き足差し足忍び足
どちらにも転ぶゆ党の役どころ
死に水を取る約束はいたしません
大王にかすむ小王プロ野球
衰えしふぐりを包む股パット

◆白眞弓

【和】
核ボタン少し平和にシフトした
奈落です家族の和み忘れさせ
日韓の和解は遠く徴用工
【自由句】
マスク無し刃が刺さる電車内
コロナ行くのっぺらぼうに塗り替えて
銭無しを三途の渡し乗車拒否
アスリートスガ GOTO 五輪へまっしぐら
核兵器禁止取り残される被爆国
【落】
早々の落としどころに森隠然
スガ落つと電波さざめく日も間近
落とすなと道真脅す子の受験
【自由句】
張り付けた仮面の下は森の顔
美しい国恩すら売らず差別する

わきまえず空気読まずが世を変える
11日花を片手に女性デモ
黒人女性プロ監督へ夢一歩
【国】
皆伐の国土いのちを侵食す
大邱（テグ）桜侵略国の夢の跡
四國五郎地の底からの叫び描く
【自由句】
恩恵を授ける福祉の窓口土
選挙とは負けるとわかって行く投票
夢の島大きな石の静かに眠る
聖火リレー土砂崩れもありそうな
塩撒けばオリンピックも出来るとか
【耳】
空耳も難聴も在りの国会審議
文春砲小耳が大きく化けて出る
文春砲的に張り付く壁の耳
【自由句】
五つの輪スガの首をも徐々に締め
ロヒンギャがいいとジョッキがキリン拒否
同性婚私に訊けと憲法君
永田町広辞苑の改定中
広島市小さな声が地鳴り化す
【穴】
陥没の底でうごめく保守陣営
墓穴を掘りつつ進む無策スガ
悪法排除アリの一穴入管法

【自由句】
別人格彼の会社の大疑獄
大本営の上に IOC が鎮座する
システムのチェック年寄り駆り出され
一輪のたんぽぽでよしこの夏は
緊急事態条項ナチスに倣うスガの腹
【教】
赤木ファイル官吏の矜持教示する
軍都広島被服支廠に教えられ
アベスガに教えられた民主主義
【自由句】
ダム阻止が若者たちに受け継がれ
カカと笑いハッハと笑うおかあさん
国籍の制度なくせば宇宙人
ズームなら選手来なくてできるかも
一滴の水も捨てずと知事選ぶ
【木】
人と熊共に生きよとドングリが
こだまきけ地球の森が軋んでる
国会前次代のために木を植える
【自由句】
復興五輪食材産地隠蔽す
黒い雨止んで虹が覆う空
我が国の最賃隣と肩並べ
そういえばドン・キホーテも男爵だ
直前の五輪ニュースは負であふれ
【生】
五輪より軽い命の私たち
子の命賭す価値あるかパラ五輪
野垂れ死に強要されて人口減
【自由句】
パラ開会過剰警備に犠牲出し
余命宣告3年喰ってまだ元気
中国から横浜守れとラスベガス
パラ五輪工学技術の見本市
障害と体力ありてパラ選手
【感】
秋口はコロナ養生しています
ウイルスも休みたいのよ冬前に
母の掌の感触のもと誓う非戦
【自由句】
町壊し戦果一人のテロリスト
国民の声をブロックする大臣
ガッと掘られザアーと海に沈む骨
パパお帰りドローン殺りくしていても
戦争も語り継ぎこそ平和の灯
【風】
記者会見立つたび向きの変わる風
台風の目になり得るか総選挙
台風の目となり政権吹き飛ばせ
【自由句】
学徒出陣ドクロが軍靴履いて征く
首相の座投げたとたんに忘れられ
戦争と死刑国家の犯す人殺し

ハイテク兵器小銃に追われ帰米する
聞く耳は人を選んで開かれる
【続】
地下水の反乱続くリニア工事
保守政権続投許し茹でガエル
76年続く米国植民地
【自由句】
国事なり民意無視する基地造り
クーポンで中抜きさらに大幅増
重い課題の海の軽石
二桁のコロナにおびえる医療人
エベレストアイスのように融けている
【狂歌】
七万で魂売って居直ってどこ吹く風のただの強盗
あちこちの玉子の腐臭激しくて鼻つまみもの監督
官庁

◆白山 未知子

【和】
忘れまい一杜の信念「和」川柳社
和やかにコロナを語る日はいつか
ひたすらに平和希求す媼（おうな）おり
【自由句】
リーダーは何処（いずこ）コロナ対応コロコロと
地獄です「自宅療養」おひとりさん
そこ退けそこ退けワクチン様のお通りだ
ガースーは瓦斯が溜まって倒れそう

※ 岡田一杜氏のこと

※

自公政権で婦女子の自死増コロナ渦中
【落】
アイムソーリ息子の接待見落とした
落ち椿大地に根ざし生きてやる
落ち椿主張し続け長らえる
【自由句】
オリバラとコロナの闘い軍配は
大和女（やまとんちゅう）男に尽くすは習い性
フェミニズム足引っ張るは女とか
男女平等日本に根付くの諦めた
日本製コロナワクチン出来ぬ謎
【国】
かの国で「さくら」歌えずただ涙
大村博士を黙殺する国ノーベル賞の
国産薬使わずコロナ蔓延し
【自由句】
知っている日本の良いとこ悪いとこ
溢れてる日本語あるのにカタカナ語
大村博士感染謎解きノーベル賞
【耳】
イヤリング　マスク嫌がり付けられず
変異株 耳目を集め有頂天
【自由句】
変異種禍それでも経済優先か
輪廻転生あとはゆっくり迎え待ち
予想通り経済優先第四波
コロナ危機に乗じて国政牛耳る輩

【穴】
針の穴つついてゆがむ子育ては
針の穴突かずゆとりで子を守る
自眠党つつき甲斐なし穴だらけ
【自由句】
日韓問題ピースボートの出番です
チコに叱られる民族対立世界中
「いじめ保険」二年で七倍誰がした
誹謗中傷弱者の捌け口ＳＮＳ
【教】
稚子育てひたすら愛すに如くは無し
七つの我に愛を教えて逝った母
正義貫ぬく強さ学んだ鶴彬
【自由句】
「スマート農業」畑を細くするのかな
クラスタは乾癬者集団痒（かゆ）いかい？
カタガナ語氾濫シニアの反乱出番です
「いじめ保険」加入者急増大儲け
コロナ禍で命のいとしさ再発見
【木】
女だてらに雪面滑降木箱ソリ
川遊び次は流木腕いっぱい
学童保育親らと共に基地造り
【自由句】
コロナ拡大オリンピックな狂想曲
会えるまに会っておきたいと指をおり
八十路まぢか母への土産未だできず

おまえはいい子支えとなった母の声
言われた数で人生決まる「いい子だね」
【生】
生か死か余命告知のないコロナ
ワクチンを打つも打たぬも命がけ
生きる人みんな主役とパラ五輪
【自由句】
どう聞くか声なき声に政治ある
復興へ五輪の虹が嘘でした
経済か命か天秤が嗤う
屑かごに国民の声捨ててある
根回しが上手か下手かで総理決め

移転後の旧風嵐村 (かぜあらし) 跡
（現・白山市白峰風嵐＝今は何もない／涙）

【感】
総裁選日本の感覚あの程度
知識より感性磨け政治家は
【自由句】
病んでいる政界よりも国民だ
闇将軍作るは国民 民度問う
「うそつきしんちゃん」もっとお勉強しましょうね
日本病政界財界棄権病
【風】
草茫茫移住させられた風嵐
故郷の小さき祠（ほこら）風に耐え
投票率で風向き変えよう総選挙
時流れ無人となった風嵐
【自由句】
レイシズム（人種差別主義）大手を振って跋扈する
レイシズム有りや無しやと我に問う
海底火山爆発軽石飲んだ魚哀れ
「原発廃止は三十年後」グレタに叱られる
「化石賞」二年連続大当たり
【続】
変異株続く人への逆襲か
れいわ党太郎に続け若者よ
【自由句】
辺野古沖七十メートルの軟弱層
レジ前で金持ち気分のイート券
コロナ株変幻自在の抑圧感
人間のわがまま退治か新コロナ

◆寺内徹乗

【和】
大和魂が敗れた教訓生かされず
核の傘信じ平和が腰砕け
昭和と令和和のつく時代大嵐
【自由句】
米国より病む日本の民主主義
安倍を支持したつけが今やって来た
コロナ禍で椅子取りゲームと化す病床
絶対に勝つ戦前も言っていた
科学より精神論を説く政府
【落】
言えば言う程地に落ちていくオヤジたち
当落も地獄の沙汰も金次第
堕落した政治家が行く夜の町
【自由句】
「男っぽい」否「男まさり」恥重ね
国民は疲れているが五輪へゴー
行き場のない金で資産家株投資
命より五輪の心配する政府
あのおっさん支持し続けた県民性
【国】
国難でひょっこり顔だすヒットラー
コロナの災降り注いでる神の国
利権利権利権利権だらけの民主主義
【自由句】
原発を稼働し事故の尻拭い

感染数で上下している菅の支持
五輪より注目されるスキャンダル
オリンピッグ小学生も言わないぞ
押し入れからポロリと落ちたアベマスク

【耳】
国民の声空耳か強行論
耳の痛い学術会議を踏み潰す
答弁も右から左の通過儀礼

【自由句】
責任を押し付け合ってるバッハ菅
ウイルスの進化に社会追いつかず
子ども庁いらぬ給食ただにして
ばらまくよリチウム水と見舞金
失策を変異のせいにするずるさ

【穴】
安倍八年政治に大きな穴を開け
政治への無関心待つ落とし穴
穴があっても入ろうとせぬ蜥蜴たち

【自由句】
さざ波笑笑で医療崩壊しています
ワクチンの足らぬ会場密になり
五輪への暴走列車止まらない
日本の恥を晒した偽造署名
外国人泣かす日の丸収容所

【教】
釈尊の教え富国強兵とは真逆
幾多郎を称える教育未来なし
専門家の教え封じる菅政治

【自由句】
「NEC 脅せ」次国民が脅される
日本が専制政治へ向かってる
ワクチンやひねもすのたりのたりかな
パペットは喋り出すのが遅かった
五輪猛進政権維持のギャンブルだ

【木】
朝ドラで見る国産の木の悲劇
木を切ってゴミ埋め立てた大惨事
国産の木が高すぎて買えぬ民

【自由句】
無観客の会場周辺人だかり
虐待虐殺五輪開会テレビ消す
五輪来た逃げろと疎開する都民
聖火には密になるなと御触書
溺れた政府金メダルにもすがりたい

【生】
息をして病床空くのをじっと待つ
せっかく生まれ銃口向けられるアフガン
理不尽にひたすら耐えて生きている

【自由句】
安心安全と言ってたことは嘘でした
感動もコロナの波にかき消され
アフガンへ懺悔をしない大統領
読み飛ばし首相の本音透けてみえ
選挙に行かない若者ワクチンあと回し

【感】
国会にない総裁選の緊張感
靖国参拝世界に走る緊張感
引きずり降ろされても独りよがりの達成感
【自由句】
新首相に見える安倍らの背後霊
電波止めると脅した女大健闘　徹衆
ワクチンで無能をさらしまだ人気
総理目指し脱原発はトーンダウン
聞く力ボスらの声を聞きました
【風】
あきらめが無風状態作り出し
風向きで運命決めた三・一一
風吹けば飛んでいきそな議員たち
【自由句】
メモ掲げ聞いているふりしています
中国は脅威と煽り票集め
こんなところにまだあったのかアベマスク
投票しないから生まれてしまうクソ政治
鳥かごの鳥がようやく放たれた
【続】
総選挙どこまで続くぬかるみぞ
9条を掲げて戦後を続けたい
【自由句】
苦も楽も仲間と共に生き抜かん
総選挙ちょっと維新に寄ってこか
老いの身に小春日和のプレゼント

◆遠田亀公子

【和】
はやぶさが暗い令和にくれた夢
難民が海の向こうにいる平和
核の傘借りて平和に甘んじる
【自由句】
炊き出しに令和の蟻が十重二十重
飢餓よそに食品ロスの減らず口
血税で真っ赤に染まる五輪漬け
コロナ下にカイコウカイコと泣くおけら
自助自粛自嘲自虐で耐える日々
【落】
目の粗い笊で見捨てる落ちこぼれ
文春砲に撃ち落とされる金バッチ
ハローワーク網から落ちた蟻の列
【自由句】
五輪旗を半旗に変えるコロナの火
春闘も不発コロナに羽交い締め
株狂乱街には食えぬ蟻の群れ
血の滲みた山土で埋める辺野古沖
裏金で骨の抜かれたクラゲ族
【国】
国歌斉唱座ったままじゃクビですか
貧困が裏に貼り付く無国籍
この青い地球を仕切る世界地図
【自由句】
絶滅の危惧種たらんや和平の火

原発禍デブリ炉の底闇の中
せり立って海に牙むく防潮堤
死に体の五輪に巣喰う蟻地獄
幕引きを他山の石でかたづける

【耳】
権力を握ると耳が遠くなる
ニンゲンの耳には辛い銃声音
戦力外コロナが耳を狙い撃ち

【自由句】
処理水と言わせてならぬ汚染水
焼け石に水がコロナの決算書
妖怪が指揮棒を振る大本営
国益を御旗に煽る二枚舌
核の傘国旗に一つ星のシミ

【穴】
後手後手の官邸今日も掘る墓穴
難民が蹴り落とされる飢餓の穴
日の丸の遺品に残る弾のあと

【自由句】
コロナの火が都市文明を闇にする
札束が口を封じる再稼働
原発にＮＯの拳はおろすまい
改憲を煽るコロナの裏舞台
さざ波に右往左往の日本丸

【教】
洗脳へ指導要綱厚くなる
神様の教えに背く殺し合い
権力の片棒担ぐ教団旗

【自由句】
鉄条網で断絶はかる基地の島
香港を赤い轡が締め上げる
おもてなし復興五輪息絶える
アベマスクお蔵入りしたまま廃棄待つ
ワクチンと無縁な難民キャンプ村

【木】
過疎の墓地朽ちた卒塔婆がそこかしこ
アマゾンの森を潰して病む地球
コンクリートの谷間木霊は返らない

【自由句】
コロナ禍のネット難民首がない
曼珠沙華盛りの中の原爆忌
黒い雨開かずの扉突き破る
自粛余波子供食堂灯が消える
コロナ禍に五輪を担ぐ一握り

【生】
コロナ禍に自宅放置の生き地獄
生き死には自業自得という政治
野蛮国入管生命もてあそぶ

【自由句】
死に水も取れず無念のコロナ葬
パラ五輪また繰り返すインパール
パンデミック世界のどこからでも出る死臭
コロナ禍のネットカフェが抱く狂気
大本営五輪金しか眼に見えず

【感】
性感帯を逆撫でて行く政治ゴロ
感染の中で撃ち合う水鉄砲
緊急事態今日も明日もで不感症
【自由句】
断層の上で身を焼くウサギ小屋
リンゴ日報廃止に続く血の粛清
大散財オリパラ三兆円の夢のツケ
ああ国会デモを尻目にまだ休眠
この星に生まれたことを問うコロナ
【風】
総裁選どっちむいても風見鶏
風向きが変わるぞ前に舵を切れ
風の浜自決の塚が朽ちて行く
【自由句】
ばんざいで国会閉じる猿芝居
国会を火の票弾で埋めてやれ
飢餓の子が涙で話す逃避行
電話から選挙と詐欺の甘い声
飢餓の子が涙で話す逃避行
【続】
ＳＤＧｓを蹴散らしでいく防衛費
続編を期して寂聴眼を瞑る
支援策欲しい弱者をスルーする
【自由句】
吹き戻す風に呑まれる浮動票
おめでとう化石賞ですお大臣
見栄だけの数字で踊っているコップ
給付金の鼻薬嗅がされ閉じる口
共闘の翼で越せぬ山はない

◆中野 林

【和】
「和を」掲げ九条抱きて七百弓
「和」と生きた岡田一杜を仰ぎ見る
コロナ禍に平和の尊さ思い知る
【自由句】
コロナ禍で罰振りかざす罪作り
コロナ禍を煽るスガの禍地獄絵図
急ぎたいしかし急げぬ救急車
焼け石に水かけているスガ政治
長生きのできぬ政権暴れてる
【落】
長男を堕落させてる父性愛
地に落ちる前に割れてるスガ器（うつわ）
ガースーの首相勤め腑に落ちぬ
【自由句】
「黙らない」すべての人に金メダル
「変われない」政権与党にサヨナラを
「黙らない」数が物言う民主主義
息子への威光分与お手の物
深き罪背負ってガースー今日も逃げ
「大事件」起こして去った森先生

沈黙は「禁」と教えた「教師」あり
タガ外し霧の中行く五輪かな
聖子さん女性蔑視の「父」を持つ
コロナ禍をもっと呼び込む五輪かな
わきまえる女人仕える日本国
国会の鍵を私物化する総理
歴史に名刻んだ虚偽の答弁王
口開けばオーム返しの嘘の山
合言葉コロナ憎けりゃスガ退治
コロナ禍に自助の重荷を背負わせる
ブレーキを踏み忘れてるドライバー
権力を握るその手は汚れてる

◆羽原川　貞行

【狂歌】
自助にてはながらえかねるわが命いま花咲けるは
公助なりしか　＝新型コロナウイルス
うすく濃く日ごと夜ごとの接触のみな感染と見え
わたるかな　＝後期高齢者
つゆだにももらさじと見るパソコンの師のおわす
らむ遙けき彼方　＝大学生
有りてだにおぼつかなさの我が暮らし契り消えな
ん後のつらさよ　＝非正規労働者
株高に喜びするもコロナ禍の社会の疲弊行く末思う
その昔弱きをいじる普（ガースー）を公助（コースケ）
さんがたしなめたとさ　＝日本昔話

◆浜本大蔵

――スガノカルタ（偽川柳）
桜見はもりかけそばと親子丼付き
オリパラはやらねばならぬと見栄を切る
謝って済むと思うな舐めたらあかん
コロナ下で忖度優遇の百鬼夜行
神の国女性差別のお供え付き
パンデミック一億総懺悔で乗り切ろう
危機煽り権力集中の好期にす
感染も災害も一旦緩急アレハ義勇公ニ奉ズ

◆馬頭琴

【自由句】
我が指示に勝る考え有りや無し
核のゴミ金に釣られて己捨て
変わり身の早いコロナに追いつけず
ガースーでなくスカスカでした
散発の宣言コロナに馬鹿にされ

【自由句】
今日もまた接待づけで法通し
ボランティア内なる力で森自滅
柵の中鶏（とり）の自由に金惜しみ
まっしぐら菅二階の貸し借りで
ＧＯＴＯはコロナの後の策とは知らず

【自由句】
マイナンバー秘密を盗む５千円
故人をもリコール署名で蘇生させ

地震並心身蝕ばむ低飛行
デジタル法今と未来を盗み取り
英の核ヒロシマの涙溢れさせ
GOTOはコロナの後の策とは知らず
【自由句】
そこのけよ復興ダシに五輪が走る
図書履歴明け渡せと館に立ち
無点滴聴く耳持たず壁の雨
海のプラ胃袋目指してまっしぐら
へばりつきネットに心を吸い取られ
【自由句】
やはりまたザルから漏れる消費税
神頼みベッド減らさせコロナ待つ
入管に治安維持法目を覚まし
支持低下代弁急ぐタレントら
融氷の未知のウイルスお通りだい

◆前田大峰

【和】
和の世界二十人学級出来て良し
すし詰めにして平和な子どもら育たない
【自由句】
大統領選ひと月経つも出来ぬ国
菅の足元から感染症が禍を捲く
墓場から盗んだ土で基地に埋め
コロナにGOTO人災に仕上げる
再放送ばかりで値下げと来た受信料
だんだんとスマホが職制に成ってきた
一〇万年核のゴミとコロナ埋め
【耳】
訪米土産に原爆の耳飾り
耳打ちしながら親子でする汚職
【自由句】
本当は三密に暮らしたい心
デジタル庁ホクロの数まで写し取り
聖火行くコロナ町を引きずって
喰い倒れ出口でコロナ待っている
聖火騒いでコロナ四波押し上げる
列島狙って居るのは派遣主義
思いやり引き取りワクチン恩に着せ
本当は三密に暮らしたい
コロナ禍で維新政治第四期
ボロボロの町カジノ予算だけ残し
【穴】
コロナの先に五輪の大穴埋め立てる
思いやりの辺野古基地穴を埋め
【自由句】
医師おらずベッドもなくて在宅死
思考停止されて人間朽ちて行く
コロナの後を骸（むくろ）が追いかける
五、六波でも鳴るのか五輪のファンファーレ
九条の改憲朕のために死ねるかい
【教】
九条を教えたくない菅の腹

毎日が戦場校舎の隅に基地がある
校則の子どもの人権捨ててやり

【自由句】
パンデミック五輪病が発症し
オリパラに世界のコロナ競い合い
国民の命と安全守ると大ボラを吹く
今日明日と何か落ちて来る米軍機
コロナでは親の脛かじれない
中止も出来ず変異株を追い廻す
思考停止聖火の松明振り廻す

【落】
バッサリと落としてやりたい菅の頸
頸切りがコロナが運んで来る恐さ
コロナ落差に暮らし追い付けず

【自由句】
新自由主義誇りも思想も取り上げる
機密費は公助かい８６８億円
アメリカ以外に行かない菅の足
核の傘から出ない総理足
夫婦と親子で血税食い散らす

【報】
報われぬ石綿吸って死んで行く
自粛ばかり報われぬコロナ禍の後を追う
報復呑み込んで反基地耐えて居る

【木】
香港の青いリンゴ根元から切り倒し
ひこばえは巨木が吸い取り枯死する

【自由句】
聖火先頭にコロナと競い合い
法名も名前も失せてコロナ禍の葬式
公道も走れず聖火ＣＯ２振り廻し
墓参りマスク半開きにして詣り
小さい国にでかい軍隊後はクーデター

【生】
コロナ禍で明日判らず生きて居る
どん底から青空見上げて生きて居る
コロナに吹かれて安全安心在宅死

【自由句】
五波が来る三途の川の別れ道
響き合って反核署名やってくれ
先ず五輪コロナ忘れてバカ騒ぎ
ヤンバルの森ゴミ捨て場にする海兵隊
共存はできない核を抱いて居る
検察も買収までも不起訴にし
コロナ禍で先進国がばれて来た
一日中君が代日の丸流す大本営

【感】
コロナ感染アベのマスクで救われず
感覚ボケワクチンだけを追いまわす

【自由句】
タリバンに負け武器捨て逃げ帰り
アフガンに学ぶ気がない核抑止
タリバンの小銃に負けたハイテク兵器
新兵器誤爆で住民皆殺し

小出しして米ワクチン恩に着せ
ワクチンは支持者見ながら配分する
五星紅旗小さな星は引きちぎる
安倍マスク付けたままで救われず
【風】
突風になって永田町あたり暴れたい
コロナ風に吹かれ大儲けする大資本
【自由句】
候補者に博徒も詐欺師も御座候
秘書二人不起訴に借りを返してみ
米作って飢える新資本主義
反戦を消し去って行く日の丸と君ケ代
オリパラの怨み選挙で取り替える
コロナでも儲けますよ大資本
農相は金の玉子釣り上げる
コロナ予備軍に高齢者に赤紙
ひょっとして七三一の毒の残
血で染めた土美ら海埋める基地
第一に思いやりと防衛費
だんだんとスマホが職制に成ってきた
一〇万年核のゴミとコロナ埋め

◆若林 高坊

【和】
和を持って野党共闘菅を取れ
繰り返し対話を続け和解する
核と軍備捨て去り平和の道標
【自由句】
二回目の宣言発令も策はなし
自粛と給付セットにしなけりゃ意味がねぇ
コロナ禍に苦しめられる菅の支持
中国の反政府発言はデマとされ
【落】
息子の面倒みれぬ親に落第点
会長職世界の風で落っこちた
東電を避難者の声が突き落とす
【自由句】
福島で基準値超えの魚が獲れた
あの10万住民税で回収される
ワクチン社株価売却大儲け
疑問など覆い被さるワクチン狂想曲
忘れるな思い出させる揺れがくる
【国】
国会が嘘つき放題の茶番劇
国が揺れ二つの心配人と核
唯一の被曝国で批准せず
【自由句】
このままじゃ笑う日が来ず泣くばかり
最高裁差し止め一転運転容認
麻生節？マスクいつまでするのの馬鹿発言
命令で更にひっ迫飲食店
【耳】
パンの耳かじってその日を耐え凌ぐ
耳の穴広げてよく聞け民の声

耳ふさぎ世論無視する 菅政権

【自由句】

白痴化の蔓延大国我が日本
もう末期汚れた水を海に捨て
犠牲者の土台でつくる基地工事

◆川柳連作紹介

遠田亀公子

『香港』

香港の口にねじ込む銃と法
北京印の銃火で包む香港旗
前を向く者へ浴びせる催涙弾
女神にも罪なき罪の手が伸びる
鉄の檻に鳩を追い込む獄門島
口封じされた街から血の叫び
押しつけの法に盛られた忠誠心
人権デー国家ぐるみの赤い綱
一色に塗り潰される死の恐怖
逆風に耐へよ雨傘破れても
……

『伏魔殿』

妖怪が仕切る無法な伏魔殿
妖怪が手綱を握る神の国
血税が喰い放題の鬼ヶ島
驕りの耳を持たぬ亡者が天下人
腐り切る二世三世犬役人
魑魅魍魎御殿支える役者たち
どの顔も脛に傷ある金バッチ
君が代で大合唱のムジナども
伏魔殿追い払われる中の鳩
……

『走馬灯』

《父を想う》

犬死の踏み絵踏みつけ出征す
出征の軍服に児は泣き止まず
挙止不動写真の父は不老不死
コーリャンを軍靴で踏んで来て無口
ノミシラミ土産持参の帰還兵
軍歌より呑めば唸った浪花節
地雷原を歩いた父のげんこつ語
書き留めの候文に父を見た
病床の父から失せた頑固の火
盂蘭盆へ墓前に並ぶワンカップ

《母を想う》

白無垢が防空頭巾とモンペの日
新婦から国防婦人のタスキ掛け
糸屑を拾うむかしの母の影
母危篤荒い呼吸の前に立つ
介護士の手の甲にある夜勤メモ
延命処置断った手が泣いている
通夜葬儀バックに母の生きた曲

シャリシャリと鳴って納まる壺の骨
遺品整理こころは鬼になりきれず
一周忌コロナが母を遠ざける

……

『青春残像』

青春のためらい傷に疼く夜
青春の火種が残る古日記
青春の門にあいあい傘の傷
論争に未来があった四畳半
明け暮れた反戦デモの青春譜
コッペパンに夢を繋いだ寮の部屋
国会のフランスデモに見た戦後
差し入れにシュプレヒコールと連帯歌
残像の真っ直ぐ前にいるゲバラ
振り向けば空に自由な根無し草

……

『汚染水』

処理不能になって言い出す安全度
安全な水なら総理まずどうぞ
安全と言う嘘くさい官邸語
処理水の世論操作に走る国
安全のヒビから漏れるトリチウム
漁業者へ汚水のツケを押し付ける
科学者も口裏合わせお膳立て
処理水で育つ魚介を喰うあした
竜宮を襲うプラごみ汚染水
子々孫々母なる海は穢すまい

……

『インパール五輪』

インパール五輪のラッパ鳴りやまず
血税を穴埋めにして五輪玉砕
色褪せた五輪にすがる石頭
五輪旗へ悪夢のコロナ燃え盛る
コロナの火聖火をよそに駆け巡る
屁理屈で夢の祭典捻じ曲げる
総スカン喰っても御旗振る蛮行
火ダルマの五輪の下に泣く弱者
犠牲者は二の次メンツ前に出る
五輪後に待つ日の国の生き地獄

……

『敗戦忌』

立ちんぼもお休みを取る敗戦忌
遺恨百年孫子が背負う呪いの火
犬死にで入れてもらえぬ慰霊祭
ガジュマルも焼き尽くされた地上戦
赤子まで道づれにした自決の地
シベリアの凍土星ほどある無念
南海のいくさ沁み込む星の砂
上野駅の戦災孤児も無縁仏
瘡蓋を取れば血糊のつく平和
語り部を黙らせに來る街宣車

……

『泥船』

船長は羅針盤より風次第

再稼働エンジン載せる泥の船
泥船の上官みんな七光り
赤字の荷積み増している金バッチ
再軍備した泥船に星条旗
特権が一等船室占拠する
泥船のカラスが鳩を追い散らす
象徴の日の丸掲げ漂流す
船底の闇に船虫生きのびる
泥船の三途の渡し地獄行き

『岩盤』
岩盤の裏でうごめく癌政治
岩盤のヒビから漏れる黒い泥水
岩盤に跳ね返されている蟻の雄たけび
岩盤の一穴に蟻の通る道を見つけた
血の滲むどぶ板活動に耐える草の根
変革のハンマーとなる俺たちの一票
岩盤の割れ目に怒りの大鉈をぶち込め
準備せよでっかいハッパがまだ足りぬ
岩盤ある限り差し込まない明日の光よ
岩盤をぶち抜く熱い焼酎をくれ

『のりべん』
のりべんに不正の種が隠される
のりべんが国家の恥を曝け出す
のりべんで保身貫くお役人
のりべんで正義あざむく権力者
のりべんで悪の入管のさばらす
のりべんと認諾の手で切り捨てる
のりべんに巣食う無法を炙り出せ
のりべんに捻じ曲げられる民主主義
のりべんはアベ家由来の悪しき術
のりべんに今日もあぐらをかく輩

◆川柳連作　岩原一角

『恩　人』
７０を過ぎて恩人思い出し
自民党校下部会の婦人会
共産党！君は正直でよろしい
食のこと通学カバン応援し
自民辞め民主を立てた方故人

◆川柳連作　周　立東爺

『森　会長』
おぼっちゃま口は達者で「名家」の出
経歴に載らぬ裏道数知れず
村人の「わしらの殿様」誇りなり
慰霊塔死者より大きい寄贈者名
会長職政治献金六千万
ぞくぞくと五輪献金届きます
娘も孫も愛想尽かす爺となり

『コロナ禍中』
自衛隊細菌戦の訓練場
医療崩壊〈ひっぱく〉とルビを打つ
医療崩壊のど真ん中三猿で
蔓延で選挙近いとご会食
政治家の心得第一ご会食
崩壊も宣言されぬ医療の場
おそろいで与党渦中の梯子食
安倍菅の失政隠す新首相

【ほのぼの川柳】

神田 鯛

バトミントン上手くなってるわが子たち
減量を頑張ってするパパなのだ
会社にはお世話になってありがたや
我が子達元気にいてくれ嬉しかな
試合では勝てて嬉しい我が子達
生意気になっては来てるが可愛かな
妄想に負けてたまるか我が心
走行距離のびてのびすぎ我が愛車
我がクルマ地球何周すればいい？
体育館使えないけど頑張るよ
只今は辛抱辛抱頑張れよ
プールでは気持ちが良くて最高だ
蝉鳴けば真夏が来るよ楽しみだ
工作に蝉の抜殻使うとな
コロナ禍でプール閉鎖で寂しいな
毎日が暑くてたまらぬ夏が来た
大会が近くて緊張我が子達
練習の試合で埼玉旅行だよ
習い事多くて毎日眠たいよ
泣いている試合に負けた我が息子
学校のつれも仲間に嬉しいな
算盤の試験受かって嬉しいよ
団体戦まさかまさかの優勝だ
クリスマス今も信じるサンタさん
きかんけど元気で何より我が子達

未知子

下校の子らマスクはずして大はしゃぎ
外では紳士内で関白ろくでなし

寿賀子

何よりも嬉しい友の笑顔なり
昼下がり寝ころんで聴くブラームス
はやりものブームが去るとゴミとなり

東　爺

籠もるのも飽きて外食気を遣う
ご近所さん遠客みたいにご挨拶
もう飽きたその隙へウイルス潜り込む
春すがし野山にウイルスおらんだろ

秋深し隣もこもるウイルス世
セミ鳴かぬ越冬ならぬ地中避暑
ネコだけの遊び場となっている砂場
手をつなぎ園児のおさんぽ車道脇
梅・桜・躑躅すぐに台風追いかける
太平洋2号数えるタイフーン
シラン散りツツジも消えてすぐに夏
ああしんど予約取るのに一週間
さい銭の効き目感じたことがない
ウイルスの不気味な静けさ紙面見る
オミクロン徐々に人も車も慌てだす

井上剣花坊生誕一五〇年記念川柳大会

（主催・東京川柳会）

《課題＝柳・樽・寺・剣・花・坊・自由》
（選者は著名結社代表12人）

県内作品を紹介

◆岡本 聡
風を教えしたたかを教えて柳
穴あきの樽はいつまでも父でした
ずぶ濡れのあなたは寺へ行きたがる
そのさくら天まで届く術を知る
みんな終わったカマキリの首動く
ネジひとつ落とし軍用機の爆音

◆奥野とみ子
あれ以来長かったねえ除夜の鐘

◆遠田 亀公子
花絶えぬ柳の下の鬼子母神
過疎自慢汗と涙と樽漬けと
蝸牛とは仮のおすがた寺の庭
銃剣を突き刺している戦争絵
銃剣の前に映して剣の横たわる
銃剣の前に雨傘不退転
バラの棘怖れず蝶は舞い降りる
少年は荒野をめざす坊主刈り
ござ唄よ越後山あいの風の道

◆周 立東爺
迷い道三途の川に寺作る
銃口に花を差し込む旅に出る
校則の坊主頭が懐かしい

編集後記

明けましておめでとうございます。

▼昨年（2021）の作品を作者別にまとめました。投句が増え、四十ページに収めるため、文字も小さく行間も詰まってしまいました。▼一昨年は井上剣花坊生誕一五〇年で、記念紙上句会が東京川柳会と川柳人社主催で開催。昨年冒頭結果が届き、県下入選句も紹介しました。▼この句会、残念に思ったのは「鶴彬顕彰や川柳中興の碑建設」のメッセージを伝える機会にならなかったこと。次の機会に期待したい。▼コロナ禍中、新変異株オミクロンが急速拡大で、二度のワクチン接種の人でも安心出来ないようです。超要注意ですね。▼この社会や政治、経済、生活の姿を川柳の力で吹き飛ばしましょう。▼昨年最後の会報で皆んなで選んだ秀句に選ばれた尉さんの句「改憲派抜き足差し足忍び足」のように先の選挙では改憲を是とする議員が2／3を越えました。▼改憲反対を掲げる党でも「国民投票があるから大丈夫だ」とノンキに演説する代表もいて呆れました。電通などが仕掛け、巨額が宣伝に使われるのは必至。その準備が着々進められています。▼かつてロック歌手・忌野清志郎が歌った「争いの河」を聴いてほしい。「♪その間に目的を持ったヤツラが着々と準備をしてる～♪」ユーチューブで「忌野清志郎・争いの河」を検索して聴くことが出来ます。https://youtu.be/ です。（周）

「鶴彬を顕彰する会」ご参加を！

現代川柳史に輝く、かほく市・高松出身の「鶴彬（つるあきら）」の業績を伝え、広げる活動をしています。年に数回の『通信 はばたき』を発行し、命日の9月14日前後にイベントを企画しています。

◆会員は年会費　3000円
◆「はばたき」購読会員　2000円
◆「和」でも取り扱っています。ご連絡を。

◆例会　1月27日（木）◆投稿〆切：26日（水）
◆課題「新」3句以内　◆自由吟：5句以内
◆オミクロンで、まだまだ危険で会えない様です。
◆鶴彬を顕彰する会の総会が1月30日にあります。

『和川柳社』　電話 FAX：076-254-0762
PC-mail：kananabe@popolo.org
携帯：090-9445-1302
携帯 mail：kan-wata@i.softbank.jp